

第6回有機結晶プレシンポジウム開催報告

山形大学大学院有機材料システム研究科 片桐 洋史

2021年9月27日(月) 10:00~12:00、第6回有機結晶シンポジウムがオンライン開催されました。招待講演2件、参加者数は89名でした。オンライン開催にも関わらず多くの方にご参加いただき、興味深いご講演と活発な議論が行われました。

プレシンポジウムはこれまで、現地実行委員が中心となってシンポジウムの前日に開催されてきました。今回はコロナ禍のオンライン開催ということもあり、広報委員会が中心となって第29回有機結晶シンポジウムの開始前に規模を縮小して開催いたしました。招待講演では、一川尚広先生(東京農工大学)と植草秀裕先生(東京工業大)よりご講演をいただきました。一川先生のご講演では、イオン性液晶の分子設計を中心に双連続キュービク液晶が創り出す三次元ジャイロイド構造の構築とその機能開拓について最先端の研究内容をお話いただきました。植草先生のご講演では、近年広く活用されているCrystalExplorerを用いた分子結晶構造の分析と可視化について、基本的な使用法からデータの解釈までを丁寧にご指南いただきました。

副部会長の藤内先生が趣旨説明でお話をされたように、学生を含めた若手研究者が有機結晶研究に夢を思い描くことはプレシンポジウムの最大の目的の1つです。参加した学生からは、「有機結晶について興味を持った」、「複雑できれいな液晶の構造に圧倒された」、「研究にすぐに活用したい内容だった」、「研究室から気軽に参加できた」といった感想が寄せられました。一方で、「参加者間のコミュニケーションに物足りなさを感じた」といった声も聞かれました。対面によるシンポジウムの再開が待ち望まれますが、オンラインの導入はコロナ禍における一過性のものではなく、多様で柔軟な学術交流のあり方として今後も活用されることが予想されます。ブレイクアウトルームの利用やシンポジウム後の交流会など、参加者が自由にディスカッションできる場を設けることが今後の課題です。次回のプレシンポジウムで皆様にお会いできますことを心待ちにしております。

最後になりましたが、今回のシンポジウムの開催にあたり、部会役員および部会会員の皆様から貴重なご助言とご協力を賜りました。また、公益社団法人高分子学会・一般社団法人日本液晶学会より協賛をいただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

第6回有機結晶プレシンポジウム

概要

- 主 催： 公益社団法人 日本化学会 有機結晶部会
共 催： 公益社団法人 日本化学会 有機結晶ディビジョン
協 賛： 公益社団法人 高分子学会・一般社団法人 日本液晶学会
会 期： 2021年9月27日(月) 10:00~12:00
会 場： オンライン開催

プログラム

- 10:00~10:10 趣旨説明 藤内 謙光 (阪大院工・有機結晶部会副部会長)
10:10~11:00 「液晶分子設計とその構築原理 ~構造解析から最新の機能展開~」
一川 尚広 先生 (東京農工大学 大学院 工学研究院 准教授)
11:00~11:50 「分子結晶構造の分析と可視化 - CrystalExplorer -」
植草 秀裕 先生 (東京工業大学 大学院理工学研究科 物質科学専攻 准教授)
11:50~12:00 閉会挨拶 片桐 洋史 (山形大院有機・有機結晶部会広報委員長)